

第7章 河川空間の利用状況

7.1 河川の利用状況

(1) 河川の利用実態(直轄区間)

平成18年度における旭川の年間河川空間利用者総数(推定)は約159万人である。

利用形態別にみると、「散策等」(64%)が最も多く、次いで「スポーツ」(31%)、「水遊び」(3%)、「釣り」(2%)の順となっている。平成15年度と比較すると、「散策等」が増加し、「スポーツ」、「水遊び」、「釣り」は減少傾向にある。

また、利用場所別にみると、「高水敷」(77%)が最も多く、次いで「堤防」(18%)、「水際」(4%)、「水面」(1%)の順となっている。平成15年度と比較すると、「堤防」が増加、「高水敷」が微増、「水際」が横ばい、「水面」は減少傾向にある。利用形態は「散策等」が、利用場所は「高水敷」が、それぞれ多数を占める。

表-7.1.1 年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計値(千人)		利用状況の割合	
		平成15年度	平成18年度	平成15年度	平成18年度
利用形態別	スポーツ	175	495		
	釣り	23	33		
	水遊び	34	47		
	散策等	284	1,013		
	合計	516	1,588		
利用場所別	水面	29	22		
	水際	28	59		
	高水敷	389	1,221		
	堤防	70	286		
	合計	516	1,588		

出典：「平成18年度河川水辺国勢調査河川空間利用実態調査」

(2) 河川の空間利用

上流部は、湯原ダム下流の河川敷に湯原温泉が噴出し、露天風呂には多くの観光客が訪れているほか、中流部は、旭川湖の湛水区間等の水辺が、水遊びや自然観察の場として利用されている。下流部では、旭川および百間川の高水敷に、数多くのスポーツ施設や公園が整備されており、これらの貴重なオープンスペースは、多くの市民に利用されている。また、岡山城や岡山後樂園と調和した河川空間は、旭川の代表的な景観であり、地域の憩いの場となっている。

1954年のダム完成を記念して旭川湖の周囲に植えられた桜は、「桜のトンネル」とよばれ、地域のシンボルとなっている。



湯原ダム下流の旭川河川敷には、湯原温泉が噴出し、露天風呂には多くの観光客が訪れる。また、親水性も高い。



高瀬舟発着場跡は親水性が高く、観光名所ともなっている



ボランティアによる河川敷の清掃が行われている。



市民ゴルフ場



しじみとり(平井子どもの水辺)

岡山市を貫流する旭川下流は、河川敷に多くの親水施設が整備され、ゴルフや釣り、カヌーをはじめとしたスポーツや、自然散策の場として利用されている。



百間川ふれあいフェスティバル(百間川原尾島橋上流)



おかやま桜カーニバル(旭川河川敷)



釣り(中原橋付近水辺広場)



カヌー(クラレ取水堰付近水辺広場)

百間川の河川敷は緑地公園化されており、旭川下流部とともに、近隣住民に利用されている。



百間川河川敷



維持流量導水地点直下

(3) 漁業

旭川水系は京橋から上流の旭川と百間川で7つの内水面漁業協同組合が存在する。また、京橋から下流については、沿岸漁業協同組合である児島湾漁業協同組合連合会（岡山市漁業協同組合等）となっている。

表-7.1.2 旭川の漁業権設定一覧表

	漁業協同組合名	漁業権	対象魚類	対象河川
内水面漁業協同組合	旭川南部漁業協同組合連合会 ・旭川岡山漁業協同組合 ・旭川漁業協同組合 ・旭川南漁業協同組合	第5種共同漁業権 (内共第8号)	・6/1～12/31：あゆ ・通年：うなぎ、こい、はえ、ふな、もくずがに、てながえび、すっぽん	旭川(京橋～明星堰)
				旭川(明星堰～日本造園付近)、宇甘川
				旭川(日本造園付近～旭川ダム) 桜川、田地子川、大藤川、長谷川、中田川、小玉川、誕生寺川、滝谷川
	旭川中央漁業協同組合	第5種共同漁業権 (内共第9号)	・6/1～12/31：あゆ ・3/1～8/31：にじます、あまご ・通年：うなぎ、こい、はえ、ふな	旭川(旭川ダム～勝山町湯原町の町境界) 備中川、月田川、首尾川、茅見川、戸嶋川、新庄川、土用川、野土路川、浦手川、目木川、正石谷川、白賀川、余川、立尾川、兼秀川、山生川、下谷川、寺谷川、神庭川
	湯原漁業協同組合	第5種共同漁業権 (内共第10号)	・6/1～12/31：あゆ ・3/1～8/31：あまご、にじます、 ・通年：うなぎ、こい、ふな、はえ、わかさぎ	旭川(勝山町湯原町の町境界～中和村界下流端) 大庭皿川、三坂川、釘貫川、福井川、山根川、鉄山川、羽部川、社川、竹の花川、古屋川、白根川、田羽根川、種川、小茅川、大杉川、粟谷川、藤森川、深谷川、黒田川、湯原湖
	旭川北漁業協同組合	第5種共同漁業権 (内共第11号)	・6/1～12/31：あゆ ・3/1～8/31：あまご ・通年：うなぎ、こい、ふな、はえ、にじます	旭川(中和村界下流端から上流) 植杉川、山乗川、津黒川、下和川、高松川、戸谷川、宮城川、三谷川、井川、中谷川、玉田川、湯船川、明連川、苗代川、内海谷川、白髪川、浪世川、田部川、粟住川
番川漁業協同組合	第5種共同漁業権 (内共第20号)	・通年：うなぎ、こい、ふな、なまず、もろこ、ぼら、すずき、てながえび	砂川、百間川	
		第5種共同漁業権 (内共第21号)	・通年：うなぎ、こい、ふな、なまず、もろこ、ぼら、すずき、てながえび	二番川、四番川
沿岸漁業協同組合	児島湾漁業協同組合連合会 ^{注)} ・岡山市漁業協同組合	第1種共同漁業権 (岡共第66号)	・通年：えむし、しじみ	旭川(京橋下流)～河口の一部
		第1種共同漁業権 (岡共第72号) (岡共第73号)	・通年：あおのり	旭川(京橋下流)～河口の一部
		第2種共同漁業権 (岡共第85号)	・通年：建網漁業	旭川(京橋下流)～児島湾

注) 児島湾漁業協同組合連合会は、岡山市漁業協同組合の他、朝日、幸島、西大寺、九幡、小串漁業協同組合より構成される。

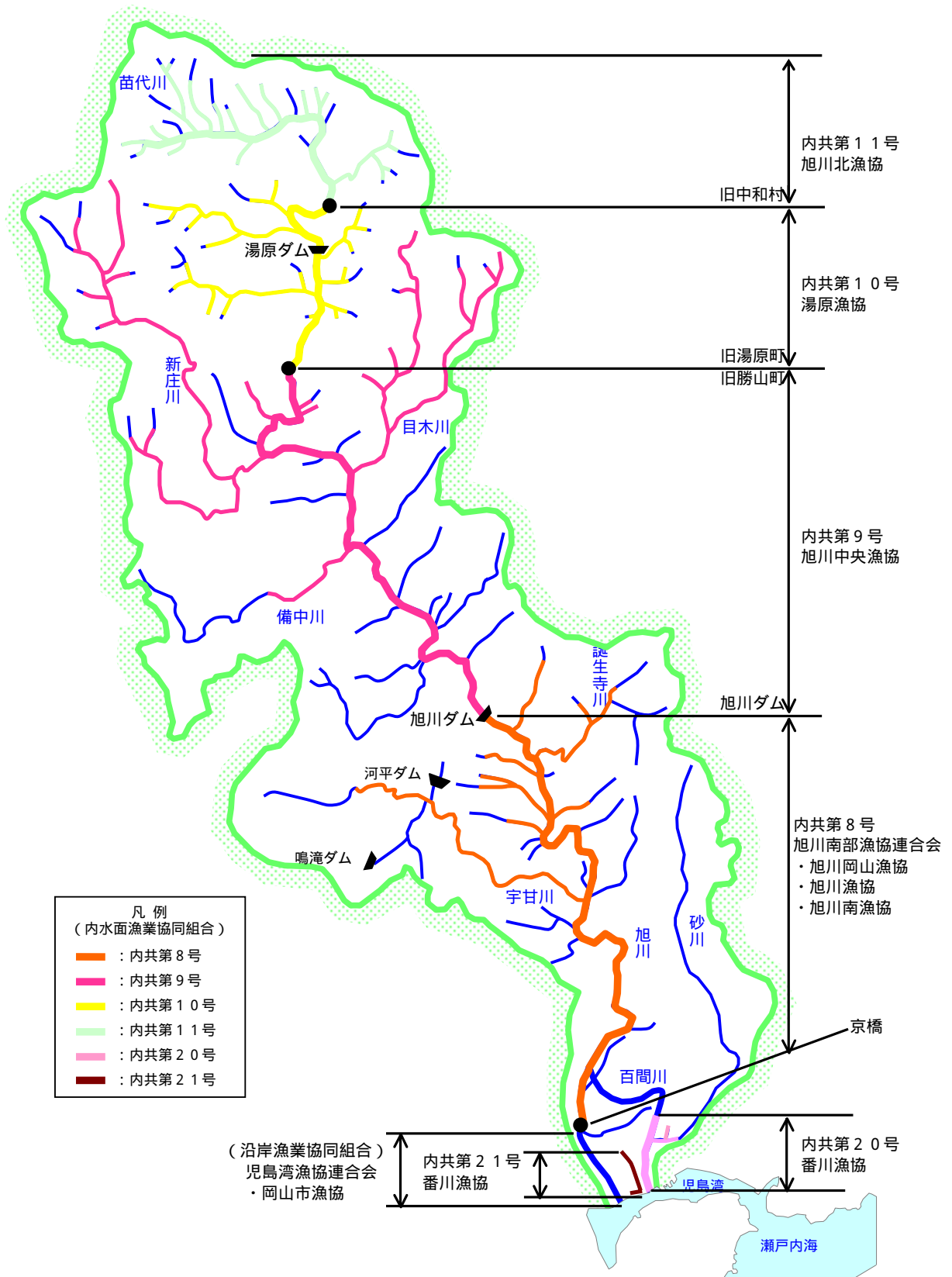
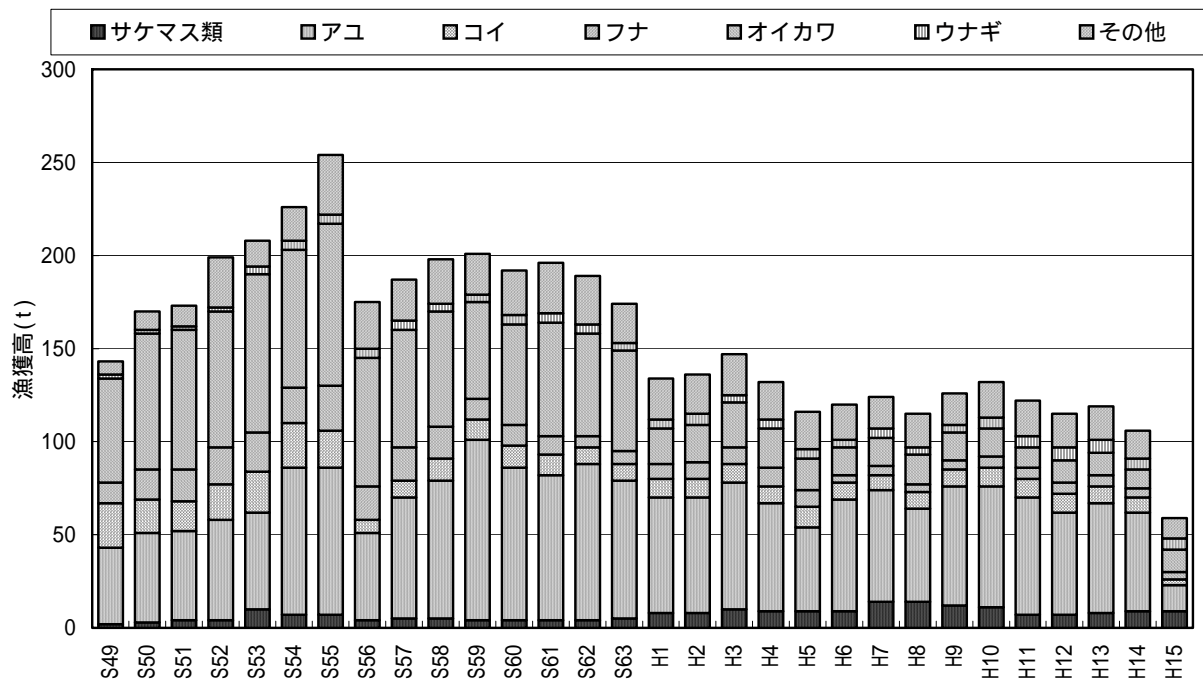


図-7.1.1 漁業権設定状況

近年の漁獲量は横ばい傾向にある。



出典:岡山県農林水産統計年報 中国四国農政局

図-7.1.2 旭川における漁獲量の推移(昭和49年～平成15年)